



三好市長 黒川 征一

市民の健康と暮らしの充実を

迎春

希望あふれる三好市をつくるために

三好市議会議長 大浦 忠司



新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、清々しい新春を健やかに迎えたいと謹んでお慶び申し上げます。また、市政への温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年8月の豪雨による広島県の土砂災害や9月の御嶽山の噴火により多くの被害に見舞われました。市内でも大雨・台風による土砂災害や浸水被害、雪害などが市民生活に大きな影響を及ぼしました。被害に遭われた市民の皆さまにあらためてお見舞いを申し上げますとともに、復旧に向けたボランティア活動や義援金並びに寄付金など、皆さまの心温まるご支援に心から感謝を申し上げます。この度の教訓を踏まえ、想定される災害への万全の備えや危機管理体制の充実など、災害に強いまちづくり推進への思いを新たにしているところでございます。

その一方、スポーツ分野では、池田高校野球部の27年ぶりの選抜甲子園大会出場をはじめ、細田雄一選手の仁川アジア大会トライアスロン競技での連覇、女子ラフティングチーム「ザ・リバーフェ

イス」のブラジル世界大会での準優勝など、本市に誇りが溢れる活躍が私たちに大きな感動を与えてくれました。

また、昨秋に市内で開催された「怪フォーラム」には周辺イベントと合わせ県内外から約1万人が詰めかけ、山城町の妖怪たちが全国から注目を浴びました。さらに、大歩危峡が国の天然記念物に指定されるなど、市内に存在する地域の魅力が大いに評価され、地域のにぎわいと市民の活力がより多く生み出された年でもありました。

昨年5月に有識者団体が発表したいわゆる「消滅自治体リスト」では、本市を含めた全国896の市町村に消滅の可能性があるとされました。若い世代の大都市への「極集中」、出生率の低下などによる「人口減少社会」の到来が、国全体の切実な問題として取り上げられました。本市の人口減少対策としては、婚活から結婚、出産、子育てまでの支援をはじめ、雇用の拡大、学校教育の充実など若者が住みやすいまちづくりに取り組んでまいります。市内にある自然、歴史、文化といった地域資源を最大限に生かした観光地づくりによる

地域振興策をはじめ、水道や道路、ゴミ処理施設の老朽化対策や公共施設の適正管理を最小限の費用で最大の効果を発揮できるよう計画的な実施に二層努めてまいります。さらに、市役所本庁舎の建設や災害時の情報通信手段の強化など市民の命と財産を守るための整備事業とともに、誰もが住み慣れた場所で健康で安心して暮らせる「健幸づくり条例」の制定にも全力で取り組んでまいります。

来年3月には合併から10年を迎えます。今後とも、行財政改革の着実な推進と公平で公正な行政運営とともに、市民の皆さまのご意見を市政に反映させ、「市民の市民による市民のための行政」を貫徹してまいります。「わがふるさと三好市を消滅させてなるものか」との思いで、人口減少克服、地方創生の取り組みに全力を傾注して取り組んでまいりますので、なお二層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本年が市民の皆さまにとりまして、希望に満ち、健康で幸せな年でありますよう心から祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。希望に満ちた新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げますとともに、日頃より市議会に對しまして深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、昨年4月の三好市議会議員一般選挙において皆さま方の信任を受けた22人の議員が誕生し、新たな体制で市議会がスタートしました。

私も議員一同、新年を契機に心を新たに、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、皆さまの声を市政に反映し、皆さまでに信頼される議会の確立に全力で取り組んでいく所存でございます。

また、私は、昨年5月の臨時会議におきまして議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、責任の重さを痛感しているところでございます。

私は、もとより浅学非才でございますが、市政の推進と公正かつ円滑な議会運営に取り組む市民の皆さまの期待と信頼に応えていく所存でありますので、今後ともご指導とご協力を心よりお願い申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、

三好市においては、池田高校の甲子園出場など明るい話題もございましたが、急速に進行する少子・高齢化、過疎化に歯止めがかからず、加えて長引く景気低迷、消費増税、都市と地方の格差の増大感などにより閉塞感さえ感じる一年であったと思います。そして12月には大雪により想定外の災害が発生いたしました。この災害で、これまで想定していた風水害、土砂災害、地震災害だけでなく、あらゆる種類の災害に對して市民の生命と財産を守るための防災・減災対策、危機管理の重要性を改めて認識したところであります。

三好市は今、少子高齢化、過疎化への対応以外にも農林業、商工業、観光などの振興、庁舎・公共施設の老朽化対策、そして災害対策など、取り組まなければならない数多くの課題に直面しています。しかし、財政的には自主財源に乏しく、国の財政施策などに大きく左右される脆弱な財政構造であり、効率的な行財政改革を進めながら、こうした課題の解決を早急に図っていかねばなりません。

議会は、執行機関と独立・対等の関係にあり、相互に緊張関

係を保ちながら協力して市政運営にあたる責任があります。このように市の課題が山積し、その解決が急がれる中、市議会の果たすべき役割もますます大きくなっています。

そうしたことから、議会として行政のチェック機能の強化、政策形成能力の強化などの議会活動を活発にすることはもとより、議員の倫理感を高めること、情報公開、住民参加を積極的に図ることなど、議会改革にも積極的に取り組んでいくつもりです。

そして議会として、これからも社会の情勢を的確に見極め、何が市民の皆さまの幸せにつながるかを常に考え、三好市が希望あふれるまちとなるよう全力を尽くしてまいります。市民の皆さまにおかれましては、本年も市議会に對しまして何とぞ温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆さまにとりまして、実り多き年となりますことを心より祈念いたします。年頭のごあいさつとさせていただきます。

